

栗東市バス交通体系計画 基本的な考え方(案)

現状と問題点

- 人口**
 - 人口は**鉄道駅(栗東、手原)周辺に集中**
 - 現在増加している人口は**2035年頃をピークに減少**予測
 - 高齢者数は増加傾向**にあり、今後も増加見込み
- 施設分布**
 - 医療・商業等の主な施設は**市北西部(栗東駅、手原駅周辺等)に集中**
- 交通**
 - くりちゃんバス・タクシー**利用者数はH23以降増加傾向**
 - くりちゃんバス・タクシー**収支率は15~20%程度と低い**
 - 自動車数・運転免許保有率は増加傾向にあり
今後も**自家用車利用を主としたライフスタイルの継続**を予測
 - 市内の道路は**国道1・8号を中心に混雑**
 - 幹線道路は大津能登川長浜線(山手幹線)、国道8号野洲栗東バイパスを計画
- 人の動き**
 - 市内での動きが最多**であり、加えて**草津市、守山市等との流動**が多い
 - 移動手段は**自動車分担率が高く**(平日54.7%)、地域公共交通は低い
- 市財政**
 - 人口増加等に伴い財政は改善傾向にあるが**市債残高等は依然高い水準**
 - 今後は義務的経費増と税収減が見込まれ**行財政運営のあり方見直し**が必要
 - 市民の考え方 市民・くりちゃんバス利用者アンケート(H31.4実施)
 - 地域公共交通を**毎週利用する人は市民の約2割**
 - 地域公共交通を**不便と感じる人は市民の約4割**
 - 外出への不安要因は「**運転できなくなる**こと」「**地域公共交通が不便**なこと」
 - くりちゃんバス認知度は市民の約9割
 - くりちゃん**バス利用者は他の移動手段がない人**が多い
(「免許のない人(約5割)」「**運転できず送迎も受けられない人(約4割)**」など)
 - ダイヤ見直しは利用者の約半数が希望
- 交通事業者の現状**
 - 乗務員等の**高齢化と人員不足**、経営環境の悪化等

地域公共交通に求められる方向性

- まちづくりと一体**となった地域公共交通整備
- 安心・安全のまち**実現のため地域公共交通**ネットワークを維持・確保・改善**
- 既存交通資源との適切な**連携**による**効率的で利便性の高いネットワーク**の形成
- 誰でも**わかりやすく**、利用しやすい地域公共交通の**環境づくり**
- 地域公共交通の**利用促進**
- コミュニティバスの**効率的・効果的運行**

上位・関連計画

- 第五次総合計画後期基本計画(H27)
- 人口ビジョン・総合戦略(H28)
- 第三次都市計画マスタープラン(H23)
- 滋賀交通ビジョン(H25)
- バリアフリー基本構想(H27)
- 第10次交通安全計画(H22D)

基本理念・基本方針(案)

基本理念(案)	『ひと・まち・環境を育む都市』の安心・安全と交流を育み 未来までも走り続ける私たちの地域公共交通	
基本方針(案)	A 鉄道・バス・タクシーが連携した地域公共交通体系の構築による利便性の確保	鉄道・バスを「幹線交通」「支線交通」、タクシーを「補完的交通」と位置付け、1回の乗継ぎで市内各所へのアクセスを確保するとともに乗継環境など利便性向上を図る
	B 持続可能なバス交通体系の構築による移動手段の継続的な維持・確保	地域公共交通の利用状況や市の財政状況等を総合的に鑑み、地域公共交通網やサービスレベルを点検・改善
	C 地域住民・交通事業者・行政の連携と役割分担	それぞれが「私たちの地域公共交通」との意識を持ち地域公共交通の維持・確保・改善に向け責務を実行
※栗東市バス交通体系計画基本方針(平成15年3月) ・現在のバス需要や収支状況また路線の役割等から、現行路線のうち 幹線として維持する路線と支線としてニーズに対応して再編を図る路線 に区分 ・支線は 現行路線の沿線需要 に加えて、アンケート調査による 市民のニーズ (潜在需要やコミュニティバスによる施設アクセス需要)や、現在の 公共交通利用不便地域への対応 等の視点により設定 ・市役所等主要な公共施設が集中する 中心部に対して、できるだけ乗換えの生じないルート 設定を原則		

施策(案)

地域公共交通網の利便性向上 A 【施策例】 ・既存バス路線へのバス停留所増設 ・各地域における地域公共交通確保に向けたバス路線延伸等の検討 ・隣接市と連携したバス運行の継続・拡大	持続可能な地域公共交通の維持確保 A 【施策例】 ・交通事業者の乗務員等確保を行政で支援 ・利用の少ない路線見直し(経路,便数,形態等) ・停留所の清掃等を地域で実施
バス等の利用環境改善 A 【施策例】 ・老朽化した停留所等の更新 ・多様な運賃決済検討(ICカード,定期券等) ・「サイクル&バスライド」推進(停留所への駐輪場整備等) ・バス等の始発・終発時間見直し検討	持続可能な運行にむけた利用促進 A 【施策例】 ・利用者数増に向け沿線住民で積極的に利用 ・高齢運転者免許返推進納に合わせた地域公共交通利用の案内 ・くりちゃんバス時刻表改善
鉄道・バス・タクシーの乗継改善 A 【施策例】 ・鉄道ダイヤを踏まえたバスダイヤの調整 ・乗継拠点となる停留所で上屋・ベンチ等整備 ・くりちゃんバス時刻表に乗換時刻を掲載(例:くりちゃんタクシー→路線バス金勝線)	